

## 2010 年度事業報告書

### 2010 年度事業報告

#### ◆ 安全対策の徹底・充実

グライダーの安全運航は、言うまでもなく学連基本活動の最重要課題であり、年間を通じて常に意識し、指導員講習会、ヒヤリハットの共有、さらには指定養成における「安全管理規程」の制定等を行い安全対策の徹底に努力して参りました。また、5月の安全祈願祭を節目に、2005年5月の久住滑空場での事故から得た教訓を風化させることなく、安全に対する取り組みを強化・充実してゆく事が学連の使命と考え学生の指導を行って参りました。

#### 自立化3年目 引き継ぎの年

自立化の新計画に基づき、事務局体制は経理事務局員1名、事務局長予定者1名を採用し、業務の引き継ぎ等を含め自立化への準備を行って参りました。各支部との連携については、各地域に滑空場を中心とした地域法人を設立する方向でまとめ、4回の「事務移行実務者会議」を通じ課題について議論をして参りました。2011年3月には事務所を朝日新聞社内から新橋明宏ビルへ移転し、本部、支部共に朝日新聞社職員の業務支援体制からOBを中心としたボランティア業務支援チーム体制に移行しつつあります。また、教官体制についても2名の職員教官、1名の嘱託教官に退職頂き、自立化への歩みを速めて参りました。

#### ◆ 公益法人移行への準備

公益法人への移行準備については、文部科学省からの改善指導に対する対応として、各種規程の検討、寄附行為の評議員・理事数検討、並びに自立化に合わせた組織の在り方、事業の仕訳等を行ってまいりました。また、公益法人移行準備スタッフとして経理専門家の採用、公認会計士とのコンサルタント契約等通じ、2011年下期の申請を目標に準備を進めて参りました。

#### 収益増、さらに経費の削減

詳細は決算書の通りですが、収益増の面からみますと全体ではほぼ予算額に近い金額で決算しました。また、支出面では自立化準備の会議費、人件費等以外で

は経費の削減を実施して参りました。但し、2名の職員教官退職については、早期退職のため退職金積み増しを機関決定頂きました。同時に当初予算の変更をご承認頂き「学生航空公益基金」から相当額を支出致しました。今後、事務所経費等も一定額を必要としており、経費の削減については従来にも増して必要性を認識いたしました。

#### 創立80周年事業

2010年度は連盟の80周年節目の年であり記念切手シートの作成、6月19日に記念式典並びに祝賀パーティーを行い、現役学生はもとより、OB・OGの皆様と節目の年をお祝い致しました。記念式典では永年学連をご支援頂いた、富岡清熊谷市長を始め妻沼、木曾川、大野、久住の各滑空場でお世話になった方々10名の皆様へ感謝状を贈呈し、これまでのご支援に感謝の意を表すると共に、今後の発展をお誓い申し上げました。

訓練統計記録表(2010年1月～12月)

各支部の実績と現況		関東	東海	関西	西部	合計
加盟校数		22	9	17	11	59
部員総数		315	65	147	68	595
(特別維持会員を含む)		319	72	157	85	633
訓練状況	合宿回数	193	42	123	29	387
	参加延人数	11,376	1,364	2,836	0	15,576
	飛行回数	15,742	2,421	5,122	1,491	24,776

技能証明	教育証明	2	0	1	0	3
	事業用操縦士	0	0	0	0	0
	自家用操縦士	27	5	12	3	47
	二等整備士	0	0	0	0	0
	二等運航整備士	1	0	0	0	1
計		30	5	13	3	51

各校所有機材	使用滑空機	59	12	29	10	110
	ウインチ	7	1	2	2	12
	トレーラー	37	10	12	7	66
	無線機	148	24	32	22	226

## 1. 2010 年度の一般事業

### (1) 講習会・研修会

新入部員や指導員への講習会をはじめ操縦教育証明、自家用操縦士、ウインチ曳航者などの学科講習会、実技講習会は、各支部で開催致しました。また、地域の方々との交流を深めるため、親子グライダー教室や中学生、高校生を対象とした搭乗会、市民搭乗会、グライダー講座などを各支部で計画し、グライダースポーツをより多くの方々に知っていただけるよう努めました。また、2月には、国土交通省航空局航空従事者試験官の技量保持訓練を実施しました。

## 2. 競技会

### (1) 第51回全日本学生グライダー競技選手権大会(2011年3月5日～11日 妻沼滑空場)

17大学から20チーム、43選手が参加して開催、地元熊谷市には5日の開会式に「熊谷めぬまグライダーフェスタ2011」を主催して頂きましたが、3月11日に発生した東日本大震災で選手権大会を中止に致しました。閉会式を含めて表彰も実施しませんでした。3月11日までの記録は以下の通りです。

#### 【個人の部】

小桧山 健	(日本大学)	3456点
後藤 真徹	(慶応義塾)	3268点
船曳 直志	(慶応義塾)	3114点
栗津 洋介	(京都大学)	3081点
井口 知彦	(青山学院大学)	2818点
国賀 将人	(法政大学)	2736点

#### 【団体の部】

名大 Discus	5197点
法政 Discus	4882点
慶応 Discus	4764点
日大 8K	4082点
慶応 YS	3771点
青山 23	3757点

**(2) 第28回久住山岳滑翔大会(2010年5月16日～22日 久住滑空場)**

14 大学、34 人のエントリーで開催。基本滑翔競技で技術を競い合いました。支部間の交流も深めました。

基本滑翔競技

記録滑翔競技

優勝 上田 翼(龍谷大学))

該当記録なし

2 位 戸田 寛規(大阪大学)

3 位 酒井 太郎(名古屋大学)

4 位 田中 成美(大阪府立大学)

5 位 湯地 恒太(名古屋大学)

6 位 川添 昭人(九州工業大学)

**(3) 第13回全日本学生グライダー新人競技大会(10月9日～18日 木曾川滑空場)**

1～2年生を対象に、審判員同乗による基本操作、空中操作、総合能力、指定地判定の4科目で技量を競いました。全国から24大学から42選手が出場しました。

【個人の部】

【団体の部】

優勝 堀 雄一(名古屋大学)

優勝 慶応義塾大学

2 位 伊藤 敦規(慶応義塾大学)

2 位 名古屋大学

3 位 戸田 寛規(大阪大学)

3 位 早稲田大学

4 位 上田 翼(龍谷大学)

4 位 大阪大学

5 位 蓮沼 桜雲(学習院大学)

5 位 青龍谷大学

6 位 飯田 健登(慶応義塾大学)

6 位 日本大学

**(4) 支部競技会**

**第23回西部競技会(10月24日～10月29日 久住滑空場)**

参加は3大学、3チーム、8選手。

【個人の部】

【団体の部】

優勝 九州工大 毛利健吾

優勝 九州工業大学

2 位 福岡大 中井志穂里

2 位 福岡大学

2 位 九州大 橋本結城

3 位 九州大学

4 位 福岡大 亀田翔太

5 位 九州工大 有田和真

6 位 九州工大 川添昭人

### 第 30 回東海・関西競技会(11月07日～14日 木曾川滑空場)

参加は 11 大学、14 チームの 34 選手。

#### 【個人の部】

優勝	谷口 竜也	(大阪府立大学)	3年	1835点
2位	栗津 浩介	(京都大学)	4年	1498点
3位	波多 野高斗	(名古屋大学)	4年	1350点
4位	高橋 良典	(関西学院大学)	4年	1003点
5位	奥村 太佑	(名古屋工業大学)	4年	927点
6位	諏訪 弘明	(龍谷大)	4年	858点
7位	丹羽 正樹	(同志社大)	4年	819点

#### 【団体の部】

優勝	大阪府立大	1835点
2位	京都大学	1498点
3位	名古屋大 A	1360点
4位	関西学院・関西大	1076点
5位	同志社 A	1016点
6位	名古屋工業大	927点
7位	龍谷大学	884点

上記 7 チームが全国大会に出場

### 第 26 回関東競技会(12月17日～23日 妻沼滑空場)

参加は 14 大学、19 チームの 39 選手。

#### 【個人の部】

優勝	船曳 直志	(慶応義塾大学)	2000点
2位	和田 悠佑	(早稲田大学)	519点
3位	小森 瑛	(日本大学)	469点
4位	金子 辰典	(法政大学)	259点
5位	井口 知彦	(青山学院大学)	38点

#### 【団体の部】

優勝	慶應ディスクス	2000点
2位	早稲田 L S	519点
3位	日本大学 B	469点
4位	法政 B	259点
5位	青山 2 3	38点

## (5)加盟大学対抗戦

### 第 14 回原田覚一郎杯(8月10日～18日 妻沼滑空場)

#### 【個人の部】

最優秀選手賞	井口知彦	(青山学院大学)	14600点
優秀選手賞	小桧山健	(日本大学)	7300点
第三位	潮崎 圭	(学習院大学)	6000点
第四位	小森 瑛	(日本大学)	5950点
第五位	角谷正直	(東海大学)	5500点
第六位	大杉英生	(日本大学)	4750点

#### 【団体の部】

優勝	青山学院大学 A チーム	17100点
準優勝	日本大学 B チーム	13650点
第三位	東海大学 A チーム	8100点

### 第 49 回国立七大学総合体育大会グライダー競技会(2月25日日～3月2日関宿滑空場)

#### 【個人の部】

優勝	森 研人	(慶応)	6311点
2位	和田 悠佑	(早稲田)	6117点
3位	後藤 真徹	(慶応)	5977点
4位	岡本 一秀	(東大)	5826点
5位	松浦 貴之	(早稲田)	4755点
6位	船曳 直志	(慶応)	4573点

#### 【団体の部】

優勝	慶応義塾大学	21288点
2位	早稲田大学	17482点
3位	東京大学	11815点
4位	明治大学	5158点

**第 34 回同志社大学・立命館大学(9月3日～7日 福井空港)**

優勝 同志社大学 3400点 準優勝 立命館大学 2624点

【個人部】

【個人部】

優勝 竹山 翔太(同志社大学) 1586点 優勝 松本 江里加(同志社大学) 140点  
2位 二平 大地(立命館大学) 1563点 2位 村瀬 徹(同志社大学) 126点  
3位 川又 さおり(同志社大学) 855点 3位 川又 利江(同志社大学) 125点

**九州工業大学・熊本大学**

実施せず

**第 7 回関西学院・関西・同志社・立命館(11月1日～11月6日 木曾川滑空場)**

【団体の部】

【個人の部】

優勝 同志社大学 3219.1点 優勝 二平 大地(立命館大学) 1642.40点  
2位 関西大学 1909.5点 2位 竹山 翔太(同志社大学) 1634.64点  
3位 立命館大学 1646.4点 3位 高橋 良典(関西学院大学) 1362.33点  
4位 関西学院大学 1381.3点 4位 田淵 雄亮(同志社大学) 887.33点  
5位 岡本 景太(関西大学) 861.46点  
6位 辻尾 さゆり(関西大学) 642.70点  
7位 川又 さおり(同志社大学) 594.14点

**第 15 回法政大学・立教大学(2月1日～7日 妻沼滑空場)**

【団体の部】

【個人の部】

優勝 法政大学 250点 優勝 国賀 将人(法政大学) 125点  
# 船越 健介(法政大学) 125点

**第 49 回国立七大学総合体育大会グライダー競技会(2月25日日～3月2日関宿滑空場)**

【団体の部】

【個人の部】

優勝 名古屋大学 2018点 優勝 波多野高斗(名古屋大学) 2000点  
2位 京都大学 1217点 2位 栗津 浩介(京都大学) 1217点  
3位 東京大学 1013点 3位 瀧本 理仁(東京大学) 901点  
4位 尾白 佳大(東北大学) 487点  
5位 近藤 安純(大阪大学) 226点  
6位 岡本 一秀(東京大学) 112点

早稲田大学・慶応義塾大学、関西大学・関西学院大学、名古屋工業大学・名城大学・岐阜大学・南山大学、中央大学・日本大学、大阪大学・名古屋大学は、震災のため未実施

### 3. 宿舎、滑空場、機材の整備

#### 【妻沼】

格納庫の外階段を再塗装しました。宿舎のテレビ、アンテナを地デジ対応にしました。格納庫に隣接した畑の所有者から土地をお借りして地目変更をして駐車場として活用しています。

#### 【木曽川】

木曽川訓練所環境の改善のために滑空場用移動トイレを発注しました。共用複座機のトラブルに対応するために A S K 1 3 の予備機を導入しました。

#### 【大野】

A S K 1 3 用ハウストレーラー及び神戸大の機体を払下げて頂き、A S K 1 3 予備機を導入しました。

### 4. オーストラリア派遣

今年度のオーストラリア派遣は実施しませんでした。

### 5. 日独学生交流

10年度の第21回日独学生交流は、11月7日(日)から17日(水)の期間ドイツのイダフリーグから Peter Weinert委員長(ミュンヘン工科大学)とAlexander Trieb副委員長(ミュンヘン工科大学)を日本に招待して実施しました。事業計画では中止としておりましたが、学生委員会の強い要望で、各地の学生委員会が協力して西部支部、東海・関西支部、関東支部の学生と交流することが出来ました。全日本空輸からの航空券の提供、三菱重工のMRJ見学、JAXAの施設見学のご協力も頂きました。

### 6. 部員の獲得

支部間で情報交換をして新入部員獲得に努めました。関東支部319名、東海支部72名、関西支部157名、西部支部85名で維持会員総数は昨年より9名減り633名でした。

### 7. 安全対策

久住山岳滑翔大会に合わせて5月15日に慰霊祭・安全祈願祭を実施、改めて事故の再発防止を誓いました。各地で指導者講習会を開催して事故・異常運航・ヒヤリハット情報の共有化を図りました。

### 8. 出版物

- (1) 機関誌「方向舵」131号(2010年9月発行)
- (2) グライダースポーツ手帳(2010年4月改訂版発行)
- (3) メンバーシップ(2010年7月発行)